

## リーグ戦表彰検討結果について

日時：平成20年2月16日(土) 18時から20時30分

場所：小松川区民館

出席者：平成20年リーグ戦表彰選考委員

### 1. 検討会の行われた経緯

「数年前から先に選手の名前を推薦すれば、次の賞の選考に選ばれる確率が高くなるなどの問題がある。」との問題提起がされたため、リーグ戦開始前に表彰基準を決めることとした。

### 2. 検討結果

#### (1) 表彰選考委員

しおりで決められている委員で行うことを確認

#### (2) 各賞について

各選考委員がチームにとらわれず、公平な視点で選考に当たる。

監督による、自チーム選手の推薦は可能

①最優秀選手、最優秀投手、新人王：裏面平成17年度確認合意事項のとおり

#### ② ゴールデングラブ賞

平成17年度確認合意事項に加え、対戦チームの選手の推薦結果を加味する。

<方法>

対戦チームの守備について、監督、スコアラー等スタッフで検討し、自チーム提出用スコアブックに3名程度の選手名と簡単なコメントを記入する。その内容を、対戦チームとのスコアブック照合時に対戦チームに伝える。

③ ベストナイン賞：平成17年度確認合意事項のとおり

④ 優秀投手：2名以内で該当者なしの場合もある。

⑤ 優秀選手：8名以内

#### ⑥ 新人賞

5年生：リーグ戦の成績を加味し、8名以内（理事長の推薦）

4年生：8名以内（理事長の推薦）

⑦ ホームラン王（ホームラン賞）、打撃賞、敢闘選手賞、努力賞

平成17年度確認合意事項のとおり

⑧ 優勝監督賞：リーグ戦優勝監督

⑨ 連盟特別賞：ホームステイ、1年から6年生まで連盟に所属、ハンデイを克服し継続した選手を表彰

# 別紙 平成17年10月22日に行われた平成17年度の表彰選手選考に当たっての検討会において確認、話し合った事項の要点

\* この検討会は、各選考委員が、チームにとらわれず連盟選考委員という公平な視点で、全員一致で選手選考に当たれるよう、事前に意見を出し合い、基本的な事柄を整理し、確認しあう場として開催されたものです。

<17年度選考委員> 蔵元、川嶋、最上、小松、岩瀬、針谷、橋高、櫻庭、片岡、鈴木、栢原、高橋、新井、上保、竹内、若木、島村、土浦、長谷川、久保田、高木

## 【現行選考基準】

### ○連盟規約

#### 第12条 表彰規定

- 1 当連盟役員及び各チーム指導者、選手を対象とした表彰を次のとおり定めるものとし、公式戦終了、閉会式において表彰する。
  - ① 功労者表彰  
当連盟に対し又は当連盟の高揚に貢献し、功績を残した者に対して理事会においてこれを決定する
  - ② チーム・個人表彰  
年間リーグ戦又はトーナメント戦において、優秀な成績を収めた者を表彰するものとする。
  - ③ チーム表彰 一略—
  - ④ 個人表彰 一次項のとおり—

### ○個人表彰規定及び前年までの選考会で確認、合意されてきた事項

《リーグ戦個人表彰》	《確認、合意されてきた事項》
1 最優秀選手	リーグ戦の優勝チームから、チーム推薦による。
2 最優秀投手	優勝チームの投手とする。
3 新人王	打撃部門、守備、試合出場回数等総合的に判断する。
4 ゴールデングラブ	投手、捕手、内野手、外野手の中から守備の優秀なもの。
5 ベストナイン	6年生の中から全試合出場、規定打席以上出場又はこれに順ずるもの(打率何割以上にはこだわらない)。
6 優秀選手 優秀投手	ベストナイン以外で優秀なもの(全員6年生を基本)。 それぞれの表彰理由を有するもの。 例、女子選手、各ポジションをこなす、規定打席に不足するが優秀なもの。
7 新人賞 5年生	成績よりも今後の活躍を期待し、理事長推薦。
4年生	リーグ戦以外の大会の活躍も加味する(リーグ戦に出られない選手を考慮)。 ただし、リーグ戦に出ている選手とし、規定打席クリアを優先する。
8 ホームラン王	4本以上とする。
ホームラン賞	ただし、4本以上で複数の者がいる場合、ホームラン賞をホームラン王以外の者に与える。ホームラン王該当なしの時はホームラン王に最も近い成績のもの。
9 打撃賞	規定打席は、16以上とする。 10位まで選考し表彰する(賞は、首位打者にはいいもの、2~10位はメダル)。
10 敢闘選手	各チーム1名とし、チーム推薦とする。
11 努力賞	同上
12 連盟特別功労賞	ホームステイなど。

## 【話し合った課題及び結果要旨】

- ◆全体を通して表彰のレベルについて——— 連盟の表彰として、各賞にかなう一定のレベルは保持させる。
  - ① チーム事情も変わり、5年生主体で優勝、あるいは上位成績となる—— 表彰は極力、6年生を優先に考える。
  - ② 表彰は上位チーム、個人にかたよる—— 結果としてやむを得ない。
  - ③ 選考委員は、まんべんなく試合を見ることは不可能であり、データにたよらざるを得ない—— 現行ではやむを得ないが、今後、適切な方法があれば取り入れて行く。
  - ⑤ その他
- ◆個別の賞について・たとえば
  - ⑥ 最優秀選手と最優秀投手について——— それにかなえば一人でもいい。
  - ⑦ 該当なし——— 無理に当てはめることはない、該当なしも当然ありうる。
  - ⑧ その他

### ◆その他全般について

(注) 勝利投手とは、勝利チームの責任投手を指す。

\*18年度選考会で事前に決めること = この試合の勝利投手の判断は

例・A君1回で代打で代

5回で時間切れ試合終了

- 勝利投手は、X君? Y君? どっちにする!  
\*最多勝利投手がかわっている場合も想定する

回	1	2	3	4	5	計
Aチーム投手	X君		Y君			
Aチーム	7	1	1	1	0	10
Bチーム	3	0	0	0	0	3

→ 得点内容を考えて決める  
→ 投球回数の多さで決める